

『斎藤茂吉からの系譜』（文芸社）東北外語観光専門学校 日本語教師 高橋良

東北大学でフランス語を学び、学部を卒業し8年が経ちました。当時、川内北キャンパスでのフランス語は、阿部宏慈先生、翠川博之先生、坂巻康司先生、ドゥニ・ドゥヴィエンヌ先生などでした。そして、川内南キャンパスでの研究室では阿部宏教授、今井勉教授、黒岩卓准教授、ヤン・メヴェル先生にご指導いただきました。研究発表会での侃侃諤諤たる議論は、印象に残っています。

本書は、歌人斎藤茂吉の作品だけでなく、親炙・私淑した弟子の作品をも対象とした評論&エッセイ集です。内容は、茂吉の用語についてのエッセイ、茂吉の弟子で宮城生まれの歌人佐藤佐太郎の作品についての評論&エッセイ、茂吉に私淑した福島生まれの俳人皆川盤水の句をめぐるエッセイ、東北帝国大学法文学部助教授も務めた桑原武夫の「第二芸術論」への駁論など、短詩形を中心とする文学に関する文章をまとめたものです。師から弟子に受け継がれたものと否定されたもの、さらに孫弟子に及んだ影響の面白さに魅了され、書かれた文章です。

ちなみに、私は高校時代にアメリカの文学者エドガー・アラン・ポーに傾倒し、その影響を知りたく思い、大学ではシャルル=ピエール・ボードレールの詩の研究をしました。学部卒業後、高校国語教員・日本語教師になってからもフランス語は学び続け、阿部宏慈先生が理事を務める山形国際ドキュメンタリー映画祭では、フランス人監督のサポーターとしても活動してきました。

その一方、山形の地に縁があったことで、斎藤茂吉直系の「歩道」という短歌結社で文章発表の場をいただきました。文章を発表し続け5年が経ち、自費出版による全国出版の機会に恵まれました。フランス語初学者には、本書が研究に関する何かしらのヒントを与えられれば幸いです。フランス語を極められているお歴々には、国文学の研究の一端に触れる機会となりますれば恐悦至極です。

Twitter @takahashi_ry5

Instagram takahashi_ry5

https://www.instagram.com/takahashi_ry5/

Facebook Takahashi Ryo <https://www.facebook.com/liausitaka.9028>

Blog 「高橋良の日日是歌」 <https://www.takahashi-tanka-tanshi-ryo.com/>

クラウドファンディングのプロジェクトページを公開しています！

<https://a-port.asahi.com/projects/mokichi-karano-keihu/>

ナニヨモ :

<https://naniyomo.com/?p=4473>

<https://twitter.com/naniyomo/status/1461900063014326273>